

⑦小中高一貫教育の継続・発展

～カリキュラムマネジメントと社会に開かれた教育課程へ～

【実践例】

- ①能勢の農業について考える(小3と高校3年)
- ②能勢の森林について考える(小5と高2生)
- ③小中高 外国語(活動)授業(小4・中3・高2)

【活動内容】

- ・小中高一貫・連携型中高一貫教育 18年間
- ・年間4回 9つのテーマ別小中高部会
- ・H27～R1 5年間 SGH指定校(能勢高校)
- ・事務局会月1回 3校管理職・首席・指導主事

- ① 環境
- ② 自主活動
- ③ 情報とICT
- ④ 食と農業
- ⑤ グローバル能勢
- ⑥ 支援教育
- ⑦ 健康と運動
- ⑧ グローバル英語
- ⑨ 言語活動



⑧高校生と考える これからの社会像 総務課政策推進係×高校生×町民

龍崎町・龍崎分校の高校生がドイツブリロン市を訪問しました



(原典: フリロニー(江前))

総務局では、8月2日（月曜）から3日（土曜）の日程でドイツ・ブロン市を訪問し、観光・エネルギー、教育に関する協議を行いました。



EVタクシーで低炭素化と移動支援を同時実現！

地域エネルギー会社の設立と高校連携の歩み

日程	内容	講師・訪問先
H30.5.17	能勢町×高校連携 住民公開講座④ 地境エネルギー・会社による“地境活性化”と“エネルギー転換”	川又孝太郎氏 (在ドイツ日本大使館参事官)
10.29	能勢町×高校連携 住民公開講座⑤ 私たちの地境についての「SDGs」とは	横原友樹氏(株)E-konzal
11.7	公開プレゼンテーション 能勢町版シユタットベルグについて	SGH中間発表会
11.8	能勢町×高校連携 住民公開講座⑥ 日本版シユタットベルグと地境活性化の取組	磯達清氏 (みやまSG(株))
11.21	能勢町×高校連携 住民公開講座⑦ エネルギーから考える能勢町を元素にするための方法	川又孝太郎氏 (環境省環境計画課長)
R1.5.22	能勢町×高校連携 住民公開講座⑧ 日本・ドイツにおける文化の違いと環境問題	中村鈴彦氏(皇輪出身/在ドイツ)
6.5	能勢町×高校連携 住民公開講座⑨ 掛川市版シユタットベルグの取組	久保田崇氏(掛川市副市長)
6.11	能勢町×高校連携 住民公開講座⑩ SDGsと環境保全・世界の未来	横原友樹氏(株式会社E-konzal)
7.2	能勢町×高校連携 住民公開講座⑪ ドイツに学ぶシユタットベルグとエネルギー転換	川又孝太郎氏 (環境省環境計画課長)
7.20	能勢町×高校連携 講座⑫ ドイツ語・文化学習	アンヤ・スリワ氏(甲南大講師)
8.19		
9.2~9.7	能勢町×高校連携 ドイツ視察⑨ ・シユタットベルグ、特に地域エネルギーの買利用を通じて、サステイナブルな能勢町を創造する	・NRW州政府、Bridon市関係者 ・エム・ケム・エム ・石橋大次郎氏 ・在デュッセルドルフ総領事
12.24	地元教員員にプレゼンテーション ドイツ視察研究発表	能勢小学校教員研修
R2.1.11	千里コラボ大学講座(豊中市) ドイツ視察研究発表	豊中市千里文化センター
2.1	NPO法人アースフオーカズ連携 高校生交流会 「面白い高校生が語る東日本大震災! ドイツで学んだ 再生可能エネルギー報告会」ゲスト参加	大阪電気高校
	能勢小学校環境学習 町・市版エネルギー・シユタットベルグ	能勢小学校5年

「アグリ×シェアリング」
新しい農地利用の仕
組みがあればいいな～

[illegible]

エネルギーでつくる、まちの「いま」と「みらい」



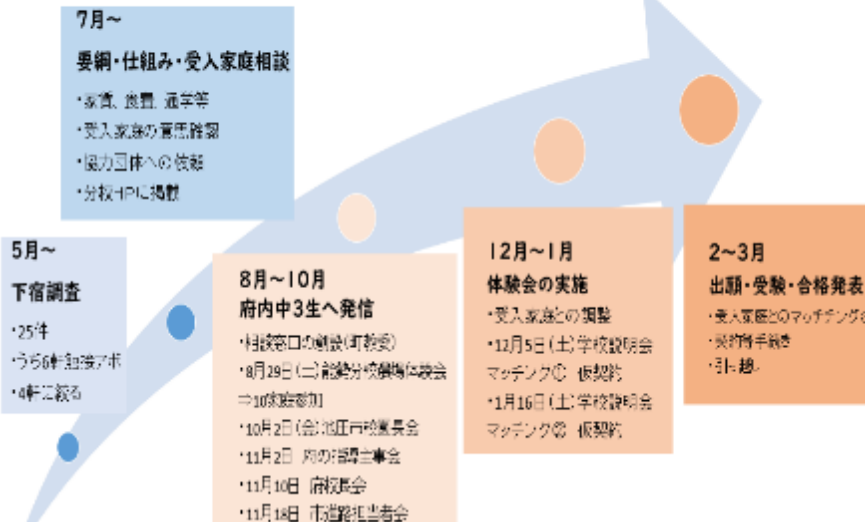
わたしたちのまちの電力会社、
はじめます

[illegible]

⑨豊中高校能勢分校の進学者拡大へ

年度入学生	地元進学率	人数	中学3年生
26年	38%	41人	106人
27年	44%	45人	101人
28年	38%	40人	90人
29年	45%	38人	99人
30年	38%	26人	69人
31年	32%	22人	67人
令和元	28%	18人	63人
2年			55人(現中3)
3年			71人(現中2)
4年			55人(現中1)
5年			61人(現小6)
6年			45人(現小5)
7年			53人(現小4)
8年			41人(現小3)
9年			46人(現小2)
10年			40人(現小1)

豊中高校能勢分校下宿受入に係るロードマップ



地元能勢分校存続の課題

- ①地元能勢中からの進学率向上
- ②生徒及び保護者への能勢分校PRと高卒後に向けた進路相談体制の充実
- ③能勢小中9年間のキャリア教育及び進路指導充実
- ④能勢中における地域課題探究的な学びの充実と継続
- ⑤府内全域中学校からの入学生拡大
⇒府全域からの能勢分校生下宿(のせ里山ファミリー制度)実施
⇒12/5、1/16 学校説明会後の下宿訪問 マッチング

【改善に向けたプラン】

- ①地域魅力化クラブ活動継続×中学校×地元企業 コラボ企画
⇒魅力づくり、仕事図鑑、素敵なパンフ、情報発信・・・
- ②まちづくり会社からの利益を高齢者等町民と高校生移動手段確保へ
⇒電気自動車等の活用、再生可能エネルギーの活用
- ③中学生×高校生×まちづくり 子どもの想い実現プラン実施へ
⇒「のせ未来志向型」の仕事・雇用を生み出す仕組みづくりへ
- ④令和3年度 文部科学省「地域との協働による高校改革推進事業」採択へ
(グローバル型)の「事業特例校」に能勢分校が認定 審査において高い評価例) 採択校:ふたば未来学園(福島)、甲府第一高等学校(山梨)
兵庫高校(兵庫)、隠岐島前高校(島根)⇒能勢分校は5番目
申請内容:「町全体でコンソーシアムを形成し、新電力会社と高校との協働で地域活性化を実践していく」「カリキュラム開発と実践」

報告の成果と課題

成果

①開校前から開校後、学校再編を通して教育委員会がつなぎ役となって行政部局、団体、各校種等との地域学校協働活動事業を推進し、能勢スタイルの教育の仕組みを整備してきた。

協働活動事業：アフタースクール、家庭教育支援制度、スクリーニング会議、学校博物館、グローバル能勢実践交流、オノマトペ体操、PHR、地域学校協働本部設置、海外研修、分校下宿制度（のせ里山ファミリー）等

協働した部署及び団体：総務課、福祉課、健康増進課、観光文化課、地域振興課、大阪府立大学、大阪自然史センター、大阪みどりのトラスト協会、大阪経済大学、大阪大学、京都大学、兵庫教育大学、大阪府教育庁等

②国事業を積極的に活用しながら、学校現場の加配教員と教職員及び事務局職員研修制度を整え、「あるべき学校の姿」の追究と「地域とともにある学校づくり」に向けた制度設計と基礎づくりを行うことができた。

活用した国加配事業：首長部局事業、CS導入事業、少子化事業、本部設置拡充事業 H27～R2 6年間 5人)

③平成30年度に学校運営協議会を、令和2年度に地域学校協働本部を立ち上げ、学校と地域が協働できる制度を整えることができた。立ち上げ時は旧小学校校区の元PTA役員が中心であったが、町内各団体からの参画を促し、オール能勢を視野に入れた幅広い組織づくりができ、各種団体とつながるための基礎づくりが行えた。

構成員：

平成30年度 旧学校PTA役員が中心

令和2年度 商工会・体育連盟・更生保護女性会・民生児童委員、総務課などから委員を選出

課題

①学校運営協議会議と地域学校協働本部の役割とその分担について、もっと保護者・地域住民・教職員にも浸透していくことができるように研修と情報発信に努める必要がある。

②小学校で積み上げてきた地域学校協働活動につながる活動を中学校にもつなぎ継続できるように。中学校が展開できる地域協働活動の推進が課題である。

③町長及び町総務課政策推進係と豊中高校能勢分校とが地方創生の根幹に「高校生」と考える社会像を描いて町民連続講座を開催している。まちの活性化に向けて小学校及び中学校が更に担えるプログラムづくりと実践が必要である。

④教職員の働き方改革を進めるに当たり、学校運営の中で「行政が担うべき部分」と「保護者・地域に担っていただく部分」を抽出し、教員の負担軽減を行う必要がある。そのことにより教職員の余裕を生み出し「地域学校協働活動」がもっと自由に豊かにダイナミックに行える環境づくりに努める。

⑤能勢町の地域資源は限りなく豊富に存在する。この地域財産である「ひと」「もの」「こと」と小学校及び中学校の教育課程と結び付け「未来を創る力」を育成できるように努める。

学校を核とした地域づくりと地域とともにある学校づくり

- これまでご紹介した様々な取組は、ご紹介した通り、能勢町では、**教育委員会が町全体の教育をトータルコーディネート**することで、様々な教育活動を実現しています。町内外の様々な団体と連携・協働することで、能勢町ならではの活動を実現しています。
- 町全体の共通の目標は、**小中学校と高校の学校運営協議会により具現化**され、それぞれの校種で学校運営に活かされています。
- また、**町全体を1つの地域学校協働本部がカバー**することで、「**学校を核とした地域づくり**」も実現しています。
- 能勢町では、教育委員会が、小中学校と高校や地域にしっかり伴走しながら、**町全体の「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」**を町全体で推進しています。

子どもにつけたい力

「未来を創る力」と「自分らしい最適な学び方」

4つの合言葉

- ①もっと**自分事**に引き寄せて「**つながる機会**」を
- ②もっと**自分の将来**について「**考える機会**」を
- ③もっと**能勢の魅力**を「**見つける機会**」を
- ④もっと**未来の課題**を探究し「**解決していける機会**」を

教員に必要な力

教職員のコーディネート力・マネジメント力・チーム組織力の発揮

- ①自分事に引き寄せ、協働的な学びや体験・・・**探究型の学び、自分らしい最適な学び**
- ②のびのび展開できる時間数の確保・・・**行事の精選、校時の統一、ICTの効果的な活用**
- ③「社会に開かれた9年間のオリジナル教育課程の編成」・・・**カリキュラムマネジメント**